

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

|                 |                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                                                                   |
| 2. 体験した事例の名称    | 庁舎からの災害出動時、左から来た自転車と接触しそうとなった。                                                                                        |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 各隊員が災害対応の準備中、機関員が斜めに右折しようとしたため左から来た自転車に気づかず自転車も停止しなかった。                                                               |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 隊員全員の安全確認不足</li><li>・ 出場体制の不完全</li><li>・ 斜めに右折しようとしたため運転者の左安全確認の不完全</li></ul> |

【体験した事例の直接的原因について】

.....

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

.....

|                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 4 月 18 日      午前 9 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                             |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：                           |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、他人を負傷させた。                |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。         |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 交通事故、                         |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災、出動途上、 [    ]               |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     |                               |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                      |

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |                                                                |
|----------------------|----------------------------------------------------------------|
| ○当事者A                | 年齢[ 47 ]歳、勤続年数[ 29 ]年、現場経験年数[ 29 ]年、階級[ 司令補 ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]              |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]              |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |                                                                |

## 11. 事例発生経過。

.....

|      | 誰(何)が | なにをした             | その他・備考など |
|------|-------|-------------------|----------|
| 経過1  | 車両長   | 出勤と号令             |          |
| 経過2  | 機関員   | 庁舎より道路に対し右斜めに進入する |          |
| 経過3  | 各隊員   | 災害対応準備する（防火衣・呼吸器） |          |
| 経過4  | 自転車   | 車両左側より車両前方に進む     |          |
| 経過5  | 車両長   | 「とまれ」と機関員に命令する    |          |
| 経過6  | 機関員   | 車両停止する            |          |
| 経過7  | 自転車   | 車両前方を通行し走り去る      |          |
| 経過8  | 車両長   | 左よしと号令            |          |
| 経過9  | 機関員   | 車両を進め発進する         |          |
| 経過10 |       |                   |          |

## 【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。避難・退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。指揮者が適切に指示した。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | はい  |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

|

## ヒヤリ・ハット現場図面

